

売上原価の計算 《決算整理》

- ・売上原価とは、() に売れた商品に対する原価をいう。
- ・決算では、売上原価を計算するために、下記の3つを用いて決算整理を行う。
- ・《3分法の場合の決算整理》※棚卸し…商品の数を確認すること
 - () …前期の売れ残り商品である。前T/Bの() 勘定の金額がこれにあたる。
 - () …当期中に仕入れた商品である。前T/Bの() 勘定の金額がこれにあたる。
 - () …当期の売れ残り商品である。後T/Bの() 勘定の金額がこれにあたり、次期へ繰越される。
- ・《売上原価の計算式》

$$\boxed{\text{期首商品棚卸高} + \text{当期商品仕入高} - \text{期末商品棚卸高} = \text{売上原価}}$$

		当期			
4/1	—————				3/31
期首		当期仕入		期末	
100円	()	500円	()	200円	
5コ		25コ		10コ	=
					売上原価
					(円) (コ)

- ・このように、**売上原価（当期に売れた分）**は「**前期の売れ残り**」と「**当期の仕入れ分**」を合算して、そこから「**当期の売れ残り**」を差し引くことによって計算される。
- ・ちなみに、この場合で当期中に@¥30で売上げていたとしたら()円が売上高となり、売上原価との差額は()円である。この金額は、「当期に売れた商品に対する利益」のことであり、()という。
- ・なお、売上原価を計算する場合は、どの勘定を用いて求めるかが、重要となるが、それには、「()勘定で計算する場合」と「()勘定で計算する場合」がある。
- ・「仕入勘定で計算する場合」は、既存の仕入勘定を用いて売上原価を求めていく。この場合、前T/Bの仕入勘定の金額は()を示すが、後T/Bの仕入勘定の金額は()を示すことになる。なお、この方法が一般的であり、出題頻度も高い。
- ・「売上原価勘定で計算する場合」は、新たに「売上原価」という勘定を設けて、そこで売上原価を求めていく。

仕訳の練習問題

1. 下記資料より、売上原価の決算整理仕訳を行いなさい。なお、売上原価は「仕入勘定」で計算すること。

《資料》

決算整理前残高試算表

×1年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
××××	⋮	
800	繰越商品	
	⋮	××××
	売上	8,800
××××	⋮	
5,400	仕入	
××××	⋮	
××××××		××××××

期末商品棚卸高…500円

1. () ()
() ()

・《勘定の流れ》

繰越商品

800	
-----	--

仕入

5,400	
-------	--

2. 下記資料より、売上原価の決算整理仕訳を行いなさい。なお、売上原価は「売上原価勘定」で計算すること。

《資料》

決算整理前残高試算表

×1年3月31日 (単位:円)

借方残高	勘定科目	貸方残高
××××	⋮	
800	繰越商品	
	⋮	××××
	売上	8,800
××××	⋮	
5,400	仕入	
××××	⋮	
××××××		××××××

期末商品棚卸高…500円

2. () ()
 () ()
 () ()

・《勘定の流れ》

